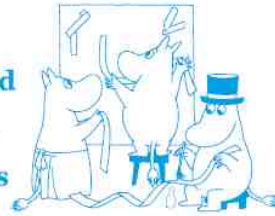




The Essence of Finnish Design and
Culture Mythology, Moomin, and
People in the Intimate Wilderness



フィンランドの くらしとデザイン ムーミンが住む森の生活

© Moomin Characters™

寄り添うデザイン。森へ還る知恵。



2013年1月10日(木) - 3月10日(日)

開館時間：午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）入場は閉館30分前まで

休館日：月曜日（ただし1月14日、2月11日は開館、翌1月15日、2月12日は休館）

観覧料金：

一般 1,300(1,100)円、大学生 900(700)円、高校生・65歳以上 650(550)円、中学生以下無料

（ ）内は、前売料金及び20名以上の団体割引料金（高校生・65歳以上は前売なし）

障害のある方と介護の方（1名）は各当日料金の半額（65歳以上除く）

前売券販売場所：チケットぴあ（Pコード：765-428）、ローソンチケット（Lコード：54598）

ほか京阪神の主要プレイガイドなど

前売券の販売は1月9日（水）まで

12月8日（土）から3月10日（日）まで「超・大河原邦男展 レジェンド・オブ・メカデザイン」との特別セット券（2,000円 ただし、大学生、高校生、65歳以上の方は通常料金のほうが安くなります。）をチケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス他プレイガイドにて販売。

株式会社フェリシモによる本展覧会限定オリジナルバッグを販売します。

主催 兵庫県立美術館 産経新聞社 神戸新聞社

後援 フィンランド大使館、フィンランドセンター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、関西テレビ放送、サンテレビジョン、ラジオ大阪、ラジオ関西、Kiss FM KOBE

特別協力 フィンエアー

協力 アルテック社、イッタラ（フィスカース・グループ）、株式会社スキャンデックス、マリメッコ社、株式会社ルック、株式会社タトル・モリ エイジェンシー、フィンランド政府観光局、社団法人日本フィンランド協会、小海フィンランド協会、株式会社竹尾、関西日本・

アクセリ・ガレン＝カレラ《ヴァイナミヨイネンとアイノ》1890年 個人蔵 photo ©Finnish National Gallery / Central Art Archives / Hannu Aaltonen
カイ・フランク《タンブラー・シリーズ》現行製品（プロトタイプ 1955年）スキャンデックス ©Iittala
アルヴァ・アアルト《ペンダント・ランプ A 330S》現行製品（プロトタイプ 1939年）©Artek

フィンランド協会、株式会社フェリシモ、神戸芸術工科大学、タオル美術館 ICHHIRO、
株式会社タオル美術館、株式会社ベネリック、フィンツアー、**ホテルオークラ 神戸**
企画・運営協力 株式会社キュレーターズ
企画協力 宇都宮美術館

本展覧会限定！「ムーミンとその仲間たちのぺったんこバッグ」

¥1900（税込み予定価格）

通信販売大手の株式会社フェリシモが、「フィンランドの暮らしとデザイン ムーミンが住む森の生活」展開催に合わせて、スペシャルデザインバッグとポーチを販売します。ムーミンのキャラクターたちをフェリシモの人気ブランド「シロップ」がアレンジ。船に乗って、どこかの港町へやってきたムーミン一家の様子をデザインした布製のワンストラップバッグです。



© Moomin Characters™

「ムーミンと仲間たちの大きめポーチ」「リトルミイの大きめポーチ」

各¥1800（税込み予定価格）

船に乗って、どこかの港町へやってきたムーミン一家の様子と、リトルミイのシルエットをプリントしたポーチです。裏側には「ムーミンと仲間たちのポーチ」にはイエロー×ブルーのストライプ模様の、「リトルミイのポーチ」には、赤×白の水玉の外ポケットが付いています。内側はカラフルなナイロン生地を使用しているので開けてもかわいい。



いずれも展覧会特設ショップのみで販売します。

フィンランドの森に住むトロールの「ムーミン」は、画家で作家のトーヴェ・ヤンソンが生み出した童話『ムーミン』の主人公です。ムーミンが家族と一緒に森で暮らし、厳しい自然環境の中で自由と冒険の精神を育んでいくことを主題とするこの物語は、フィンランドの風土やライフスタイルを学ぶための良きバイブルともなっています。

トーヴェ・ヤンソンが生きた20世紀、フィンランドのモダンデザインは、近現代の建築・デザイン史において独自の位置を確立し、1950年代以降、国際的に高い評価を得てその後の世界のデザインシーンに大きな影響を及ぼしました。「全ての人々にとって、あらゆる観点から良いデザイン」を追究するフィンランド・モダンデザインの系譜は、今日の「ユニヴァーサル・デザイン」や「エコロジー・デザイン」の原点にもなっています。これらデザイン哲学の根底にあるのは、『ムーミン』の中でも示唆されている「人間と自然との共存」や、「家庭や地域コミュニティでの相互扶助」を重視する、フィンランドの伝統的かつ本質的なライフスタイルに他なりません。



フィンランドの森の家 制作：小坂憲正（幾何楽堂）
写真提供：長崎県美術館



フィンランドの森の家（内部）© Moomin Characters™

ムーミンをガイド役に、約350点を展観する本展では、フィンランド芸術の根幹となっている19世紀末から20世紀前半にかけての民族主義を俯瞰するとともに、トーヴェ・ヤンソンによる『ムーミン』の原画、アルヴァ・アアルトやカイ・フランクの製品デザイン、マリメッコのテキスタイル、さらには現在の公共デザインでの取り組みを紹介し、時代と地域を超えるグッド・デザインを生み出してきたフィンランドの真髄を探ります。

展覧会構成

1. フィンランド・デザインの黎明

19世紀末から20世紀前半にかけてのナショナル・ロマンティシズムの動向を、国民的画家アクセリ・ガレン＝カレラや建築家エリエル・サーリネンらの作品を通して紹介、フィンランドのモダン・デザインにつながっていく作家たちの創造性やライフスタイルを展観します。



アクセリ・ガレン＝カレラ《交響詩「エン・サガ」の作曲家シベリウス - 伝説》1894年
アイノラ財団 photo ©The Ainola Foundation
ペッカ・ハロネン《冬の松》1908年 メリタ美術財団 photo ©Art Foundation Merita,
Helsinki

2. フィンランド・デザインの黄金時代

アルヴァ・アアルトやカイ・フランク、マリメッコ等のデザイン・プロダクトを通して、20世紀に黄金時代を迎え、今日のフィンランド・デザインの礎を築いたフィンランドのモダン・デザインを紹介します。



アルヴァ・アアルト《アームチェア「パイミオ」》1932年 アルヴァ・アアルト美術館 photo ©Maija Holma / Alvar Aalto Museum, Jyväskylä
カイ・フランク《食器シリーズ「ティーマ」》現行製品（プロトタイプ 1979-1980年）スキャンデックス ©Iittala
アルヴァ・アアルト《木工レリーフ》1947年 アルヴァ・アアルト美術館 photo ©Maija Holma / Alvar Aalto Museum, Jyväskylä
展示風景 写真提供：長崎県美術館

3. フィンランド・デザインの 今

アアルト大学による太陽光発電エコ住宅《Luukku House》プロジェクトや HKL（ヘルシンキ交通局）と HSL（ヘルシンキ広域交通）が展開する公共交通でのヴィジュアル・デザイン、アルテックの 2nd Cycle プロジェクトなど 2000 年代の活動を紹介します。

アルヴァ・アアルト+アルテック社
《2nd Cycle プロジェクトで収集したスツール》2007 年以降 アルテック社 ©Artek



関連行事：

講演会

1) 安藤忠雄 講演会 「生活文化とデザイン」

1月20日(日) 午後2時~3時

ミュージアムホールにて 聴講無料(定員250名・要展覧会チケット)

□当日12時より整理券を配布予定

2) 「持続可能なモダニズム ~サーリネン、アアルト、そしてフィンランドの今~」

講師：橋本優子氏(宇都宮美術館学芸員/本展企画者)

1月13日(日) 午後2時~3時30分

ミュージアムホールにて 聴講無料(定員250名・先着順・要展覧会チケット)

3) 連続講演「アートからデザインへ、デザインからアートへ フィンランドから現代を考える」

2月17日(日) 午後2時~5時(休憩時間含む) ミュージアムホール

聴講無料(定員250名・先着順・要展覧会チケット)

講師：□「自然と交感するデザイン：環境に伝えるデザインの未来」

小玉祐一郎(神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科教授)

□「国際共同デザインプロジェクト報告：「ヘルシンキ - 神戸 Eating in Open Air 戸外の食事」」 逸身健二郎(同大学プロダクトデザイン学科教授)

□「アート・教育・コミュニティを考える。フィンランドとヨーロッパ」

佐久間華(同大学院芸術工学研究科助手)

□「森の想像力：ムーミントロールと日本のフムフム」

山崎均(同大学デザイン教育研究センター教授・博物館学芸員課程担当)

各講義のあと4名で座談会

4) 「フィンランドと日本と デザインのおはなし」

講師：ユホ・ヴィータサロ氏(インダストリアル・デザイナー/日本インダストリアルデザイナー協会 JIDA 会員)

2月11日(月・祝) 午後2時~3時 レクチャールーム 聴講無料(定員100名・要展覧会チケット)

記念コンサート

ヤンネ館野トーク&コンサート「フィンランドの響き」

2月3日(日) 午後2時~4時(休憩時間含む)

出演：ヤンネ館野(ヴァイオリン)、宮田雅代(ピアノ)、山本由美子(ヴィオラ)、山岡真弓(チ

エロ)

エントランスホール 聴講無料(先着順・要観覧券チケット)

兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会共催

フィンランドの民族楽器・カンテレで奏でる北欧音楽の世界

1月14日(月・祝) 午後2時~3時 アトリエ1

出演: Lokki (大西智子(カンテレ演奏家)/織田優子(リコーダー奏者)/Aki(パーカッション奏者))

聴講無料(定員150名・先着順・友の会会員優先枠あり(50席))

兵庫県立美術館芸術の館友の会共催

学芸員による解説会

1月12日(土) 1月26日(土) 2月9日(土) 2月23日(土) 3月9日(土)

午後4時より約45分 レクチャールーム 聴講無料(定員100名)

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日

午前11時~11時15分 レクチャールーム 聴講無料(定員100名)

おやこ解説会

2月23日(土) 午後1時30分~午後2時

レクチャールーム(定員100名)先着順 聴講無料

こどものイベント「アートな凧をつくってあげよう！」

1月12日(土) 午前10時30分~15時30分 アトリエ2

要事前申込 こどものイベント係 TEL078-262-0908

「500色の色えんぴつ 子どもワークショップ」

3月3日(日) 午前11時~午後2時 ホワイエ 参加自由 協力:株式会社フェリシモ

舘野泉ピアノ・リサイタル フィンランドの暮らしと音楽と

2月24日(日) 開演:午後3時 [開場:午後2時30分]

会場:サンケイホールブリーゼ(大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー7F)

料金:全席指定6,000円(本展の観覧料を含む)

□コンサートチケットまたは半券で本展をご覧いただけます(1名・1回限り)

お問い合わせ:ブリーゼチケットセンター 06-6341-8888(11:00-18:00)

主催:産経新聞社、ブリーゼアーツ

ヘルシンキを拠点に世界的に活躍するピアニスト、舘野泉(たてのいずみ・1936年生まれ)のリサイタル。フィンランド在住40年以上におよぶ氏が「フィンランドの暮らしと音楽と」をテーマに当館の蓑豊館長との対談を交え、C.ライト《祈り》(フィンランドのテーマによる)や、フィンランドの作曲家P.H.ノルドグレン、林光、cobaらが「左手のピアニスト」、舘野泉に捧げた作品を演奏します。

一時保育 お子様を預けてゆっくり美術鑑賞はいかがですか。

1月16日(水) 2月3日(日) 2月23日(土) 3月10日(日)

お問い合わせ：HeartMam（ハートママ）要予約・有料
kako-o-kako@m6.gyao.ne.jp TEL 090-3948-3719/FAX 078-755-0973
<http://www.artm.pref.hyogo.jp/pdf/hoiku.pdf>

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

画像のご使用に際しては下記の点にご注意いただきますようお願いいたします。

原稿の校正に際しては、必ずゲラを当館までお送りください。当館より下記企画・運営協力者にご使用図版、クレジット等の確認を行いますので、誠に恐れ入りますが、校正戻しに多少のお時間がかかる事をご了承いただきますようお願いいたします。

画像 ~ 共通事項：

- 画像の部分使い、切り抜き、文字載せ、色やかたちその他の改変は厳禁
- キャプションの改変、フォト・クレジットの省略は不可
- 本展の広報、教育普及目的に限り、印刷・電子メディアにおける使用可
- 無断転載・二次使用は厳禁
- 掲載物（見本紙・誌など）を当兵庫県立美術館営業・広報グループ、及び、下記企画・運営協力者に送付すること（電子メディアの場合はサイト・アドレスを周知すること）

企画・運営協力 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 22-14 ヒルメゾンシブヤ 403 号

株式会社キュレーターズ TEL03-3463-9721/FAX03-5489-7657

久郷将臣(kugo@curators.jp)小野崎理香(onozaki@curators.jp)水野昌美(mizuno@curators.jp)

、 、 、 、 上記共通事項に加え、■バックからの画像の切り抜きは可

上記共通事項に加え、■二つのイメージを分割すること厳禁

お問い合わせ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 1 番 1 号

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】担当学芸員 飯尾 由貴子

tel: 078-262-0909 (学芸直通) fax: 078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】営業・広報グループ

tel: 078-262-0905 (営業・広報直通) fax: 078-262-0903

フィンランドのくらしとデザイン

ムーミンが住む森の生活

営業・広報グループ 宛 F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	アクセリ・ガレン=カレラ《ヴァイナミヨイネンとアイノ》1890年 個人蔵 photo ©Finnish National Gallery / Central Art Archives / Hannu Aaltonen
2	カイ・フランク《タンブラー・シリーズ》現行製品(プロトタイプ 1955年) スキャンデックス ©Iittala
3	アルヴァ・アアルト《ペンダント・ランプ A 330S》現行製品(プロトタイプ 1939年) ©Artek
4	アクセリ・ガレン=カレラ《交響詩「エン・サガ」の作曲家シベリウス - 伝説》1894年 アイノラ財団 photo ©The Ainola Foundation
5	ペッカ・ハロネン《冬の松》1908年 メリタ美術財団 photo ©Art Foundation Merita, Helsinki
6	アルヴァ・アアルト《アームチェア「パイミオ」》1932年 アルヴァ・アアルト美術館 photo ©Maija Holma / Alvar Aalto Museum, Jyväskylä
7・10	カイ・フランク《食器シリーズ「ティーマ」》現行製品(プロトタイプ 1979-1980年)スキャンデックス ©Iittala
8	アルヴァ・アアルト《木工レリーフ》1947年 アルヴァ・アアルト美術館 photo ©Maija Holma / Alvar Aalto Museum, Yväskylä
9	展示風景 写真提供:長崎県美術館
11	アルヴァ・アアルト+アルテック社《2nd Cycle プロジェクトで収集したスツール》2007年以降 アルテック社 ©Artek
上記図版を媒体掲載される際には、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。 プレスリリース 6 ページ目の、画像使用に際しての注意事項をご確認いただきますようお願い致します。	

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)		組	名分希望
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メーリングリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか	可 ・ 不可		

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会場での取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。